

ナレック ニュースレター

NAREC

newsletter

No.88

2025 Summer

2024年度
年次報告書



Our Vision

～実現したい社会像～

Our Missions

～私たちの使命～

理事長あいさつ

認定 NPO 法人自然環境復元協会 理事長 島村 雅英

日頃より会員の皆様、環境再生医の皆様の協会へのご支援ご協力に大変感謝しております。

昨年度は、『屋久島スタディツア』の開催、マイクロソフト社からの寄付を活用し寝屋川水辺クラブと協働で実施した『大阪淀川プロジェクト』など新たな取り組みもありました。

今期は、我々のミッションである『身近な自然環境を復元すること』『自然体験を通した豊かな感性と人間力溢れるヒトが育つ場を提供すること』の具現化に向け、主要事業である環境再生医、レンジャーズ、ふるさと未来を有機的に結びつけることで、環境人材の育成や環境再生医の活躍の場づくりなどを推進していきたいと考えております。

近年、日常生活に甚大な影響を及ぼす自然災害が顕著化しており『過去に例を見ない』『過去最高の』などというキーワードがよく聞かれるようになりました。環境の変化を敏感に読み取り、対応できる人材の育成がますます重要視されてくる時代になってきていると考えます。みなさまのますますのご活躍を祈念いたします。



自然環境保全委員会 委員長あいさつ

認定 NPO 法人自然復元協会 自然環境保全委員会 委員長 水野 宗衛

自然環境保全委員会ではレンジャープロジェクトとふるさと未来創造プロジェクトの2つの事業を展開しています。レンジャーズプロジェクトは東京、神奈川、埼玉、大阪で環境活動を行う団体でボランティア活動を行ってみたい人をつなぐ、とても大事で地道な活動です。より多くの皆さんのが環境保全を理解しつつ、楽しく実りのある活動ができるように支援しています。

また、ふるさと未来創造プロジェクトは主に屋久島を中心として、環境分野に興味ある大学生や環境保全活動に興味を持つ方や保全活動を行っている環境再生医の皆さんと合宿を行なながら体験型のワークショップを開催しています。環境保全活動に少しでも興味ある方の参加をお待ちしています。



多様な生き物と共に暮らす社会を目指して

身近な自然環境を復元すること。
自然体験を通した豊かな感性と人間力溢れるヒトが育つ場を提供すること。

役員一覧

理事長

島村 雅英 横浜エコアップ研究所 代表

副理事長

河野 均 玉川大学名誉教授
堺 かなえ NPO 法人全国水環境交流会 理事

会長

石川 晶生 玉川大学名誉教授

理事

岩崎 哲也 淡路景観園芸学校
兵庫県立大学大学院 准教授
小口 深志 練馬区地球温暖化対策地域協議会
会長
小堀 悠 特定非営利活動法人 NPO
サポートセンター 事務局長
高畠 正 農・都共生ネットこうべ 代表
須磨 FRS ネット 代表幹事
水野 宗衛 玉川大学農学部生産農学科
特別研究員

監事

小林 敏 認定 NPO 法人
経営支援 NPO クラブ

NAREC の活動

環境再生医制度

環境再生医は、当協会が制定した資格認定制度です。さまざまな分野で持続可能な社会をつくる環境人材を、育成・支援することを目的としています。自然環境の再生のみではなく、「自然とヒトの関わりの再生」に力を入れていることが特徴です。環境省の「人材認定等事業」に登録されています。

ふるさと未来創造プロジェクト

2008年より都市と農村の交流による地域活性化(農山漁村の活性化)の支援活動を行ってきました。地方の豊かな自然環境を守るために、全国の環境再生医等と共に今の時代に即した新しい地域運営の仕組み(新しい「結」の形)をつくります。

レンジャーズプロジェクト

一步を踏み出したい環境ボランティア希望者と、人手を必要とする環境保全団体を繋ぎ、より多くの自然を未来につないでいくプロジェクトです。活動は休日の半日で、初心者でも気軽に参加できる環境保全ボランティアとして、若い世代を中心に参加いただいている。



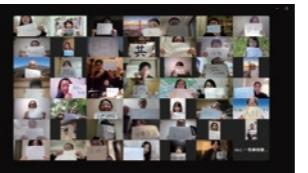
環境再生医制度

環境教育・環境人材の育成

資格認定講習

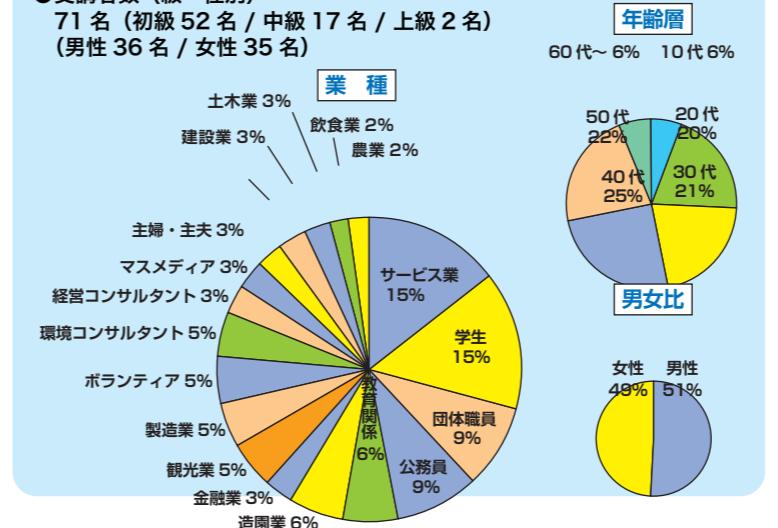
2025年1月11日(土)～31日(金)において、一般向け環境再生医資格認定講習をオンラインにて開催し、71名の方々に受講いただきました。今回も環境再生医が「多様な分野に拡がること」を目標とし、約20のいろいろな分野の方々より受講いただきました。また、受講者の男女比がほとんど同じとなり、女性の割合が本講習開始(2003年度)以来で最大となりました。年代については10～40代で約7割となりました。

また受講者からは、「講動を何度も視聴できるため、より深く内容を理解することが出来た」「ワークショップで分野、地域、年齢、経験も違う方々と話すことにより、気付きがたくさんあった」「同じ地域の方とネットワークができた」など、誠に嬉しい感想をいただきました。今後もさらに充実した講習となるよう、さらに改善を続けてまいります。



▲受講者「ワークショップ」

●受講者数(級・性別)
71名(初級52名/中級17名/上級2名)
(男性36名/女性35名)



資格の更新

取得後の活動促進のため、中級・上級資格には5年ごとの資格更新手続きがあります。2024年度は56%の方に更新いただきました。



▲資格更新手続き「自己紹介書」サンプル

オンライン勉強会

2024年11月13日(水)に、環境再生医3名の方々を講師にお迎えしたオンライン勉強会「青い地球が続くには、人間いない方がいい?」を開催しました。約140名の皆さんより参加申込(アーカイブ視聴含む)があり、当日は講師との質疑応答などが終了時間を過ぎても続く盛会となりました。

●講師 田中俊三氏(上級)
福元豪士氏(上級)・石黒燈氏

●自然と人との関わりの再生を目指して
環境再生医事業では、気候危機そしてSDGs時代での役割と在り方を常に検証し、事業ビジョン「環境再生医が、自然環境をはじめとする多様な分野に拡がり、自然も人も豊かな社会・地球」を実現すべく、ステークホルダー(資格取得者、認定校、企業や団体等)の皆様と協働しながら、さらに事業を進めてまいります。



認定校制度

2024年度は41大学(学部含む)と提携し、231名の初級取得者を輩出しました。また、オンライン申請や認定書の学生宛て直接送付などを拡大し、認定校にとっての手続き簡素化・効率化を促進しました。さらに、認定校の初級取得者が勉強会にも参加いただいたり、レンジャーズプロジェクトのボランティアリーダーとしてご活躍いただくななど、資格取得後の活動活性化も進んでいます。

認定校一覧(五十音順)

岩手大学、岩手県立大学、江戸川大学、大阪産業大学、金沢大学、岐阜女子大学、岐阜大学、九州産業大学、京都先端科学大学、甲南大学、神戸女学院大学、神戸大学、実践女子大学、芝浦工業大学、尚絅学院大学、信州大学、東京テクニカルカレッジ、第一工科大学、拓殖大学、拓殖大学北海道短期大学、玉川大学、都留文科大学、東海工業専門学校金山校、東海大学、東京農業大学、東京農工大学、常葉大学、長崎大学、西日本短期大学、日本工科大学、日本大学、人間環境大学、兵庫県立大学大学院、福島大学、北海道科学大学、宮崎大学、酪農学園大学、龍谷大学

2025年度 環境再生医資格認定講習

- 2026年1月10日(土)～1月31日(土)
- オンライン開催
- 初級・中級・上級

※初級はどなたでも受講可能
(年齢制限なし)

●詳しくは↓



都市の身近な自然を守るボランティア活動です。地域の保全活動団体とボランティア希望者をつなぎ、人手不足や扱い手不足等の課題解決に取り組んでいます。

ふるさと未来創造プロジェクト

プロジェクトを横断した新しい取り組みの始動

ふるさと未来創造プロジェクトでは、農山漁村エリアの環境保全の扱い手は地域の環境保全型一次産業であると捉えています。そこで、環境保全活動に前向きな事業者と関わったり、地域の農林水産業や暮らしに触れたりする体験の提案を行っています。過去には、地域の事業者とパートナーシップを組んで、地域の自然や文化・暮らしを体験するプログラム構築の伴走支援をしてきました。

特に、鹿児島県にある世界自然遺産の島 屋久島では、NARECは4団体の地域協議会を伴走支援しており、農業・林業・水産業・観光業に関わる多様な事業者との関係を育んできました。彼らの自然環境の捉え方、環境保全に対する姿勢こそが、“環境保全を志すひと”にとっての希望になるのではないかと考え、2025年2月21日～24日に環境再生医（それに準ずる志を持つ人）を対象に『青い地球と生きる一歩を学ぶ 屋久島スタディツアー』を実施しました。開催にあたっては、構想から3年ほどかけて屋久島で活動する環境再生医との関係構築を行い、2024年7月には当協会の理事3名、常勤職員1名が現地視察も行いました。

スタディツアーには7名（うち環境再生医2名、レンジャーズ隊員2名、一般参加者3名）が参加し、多様な立場から“環境再生”について学び、考えました。今まで独立して、関係構築を進めてきた環境再生医事業・レンジャーズプロジェクトの関係者が一堂に会し、屋久島の地で意見交換をすることができました。受け入れを担当した屋久島の環境再生医からは、「外で活動している環境再生医とのつながりができて、新しい刺激になった」「2月の観光閑散期シーズンに、屋久島でディープな体験をすることができるという可能性が見えた」などという意見もあり、地域としても新しい可能性を見出すことができるプログラムとなりました。

今後は年1～2回の開催をしながら、環境保全に関わる関係人口を増やす取り組みをしていきたいと考えています。

（ふるさと未来創造プロジェクト担当 石黒）



▲野菜の収穫



▲宿の目の前にある畑の野菜でできた料理を囲む



▲スタディツアーを終え、笑顔で集合

運営協力：福元豪士

（環境再生医上級 / NPO 法人 HUB&LABO Yakushima 代表理事）

田中俊三

（環境再生医上級 / 屋久島エコビレッジ aperuy）

レンジャーズプロジェクト

身近な自然環境の保全・復元・維持管理



2024年度の環境保全活動（以下、ミッション）は、計85回（内17回中止）実施しました。参加者数は420名で、登録者数は2024年3月時点で4,993名でした（企業・認定校のレンジャーズは除く）。

神奈川県横浜市内でのミッションでは、NPO法人よこはま里山研究所（以下NORA）と協働で実施しました。さらにNORAが横浜市より受託した事業「森づくりボランティア体験会」の一部業務を受託し、隊員を9回派遣しました。

この他、11月に、大学生を対象とした学生レンジャーズを開催しました。

12月には、親子を対象としたレンジャーズ活動を企画しました。

実施フィールド一覧



トーキョーレンジャーズ / 千葉レンジャーズ

サンシティの森、柏の宮公園、長池公園、荒川砂村、目黒川遊歩道、黎明橋公園、森ヶ崎水再生センター / 北方生きもの子どもミニ自然園



黎明橋公園（東京）
企業貸切によるボランティア活動。
芝を維持するための雑草抜きを行いました。



ヨコハマ / 川崎レンジャーズ

川井緑地、恩田の谷戸、桜ヶ丘緑地、瀬上市民の森、新治・谷戸田、谷戸部池公園、元町公園プール、森づくりボランティア体験会（横浜市内6か所）/夢見ヶ崎動物公園、たしばなふれあいの森・春日台公園、水沢の森



たしばなふれあいの森（川崎）
ホタルの育つ小川の保全として、溜まった泥を水路から取り除き、水漏れしそうな穴を塞ぐ作業を行いました。



埼玉レンジャーズ

飯盛川、河原町原っぱ、太田ヶ谷の森



大阪城公園（大阪）
見通しのよさや歩きやすさを改善するため、樹林帯に繁茂する幼木の除去作業を行いました。



かまくらレンジャーズ

鎌倉中央公園



おおさかレンジャーズ

大阪城公園、芥川緑地、穂谷の里山、淀川庭窪ワンド、淀川点野ワンド

以上 28 フィールド

リーダーの新規採用および育成

リーダーは、フィールド活動当日に現場へ行き、参加者と現地団体の橋渡し役などのファシリテーションを担います。リーダーの資質向上のための研修として7月に新宿消防署の普通救命講習に4名参加、8月のオンライン研修・交流会に5名が参加しました。

また、3月には、新規リーダーとして8名を登用（内2名はインターン生）し、研修を積み重ねたのち、リーダーとして活躍しています。

マイクロソフト社 大阪淀川点野ワンドの生態系再生プロジェクト他

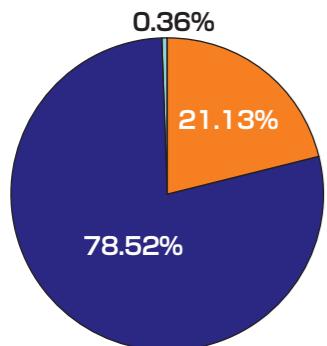
大阪淀川点野ワンド地区にて生態系再生プロジェクトがスタートしました。10月には、マイクロソフト社社員12名を含め、総勢40名にてチガヤ・セイタカヨシの苗を植えました。ドキュサイン・ジャパン社の企業研修を4月と9月の2回コーディネートしました。

会計報告

I. 経常収益

1. 事業収益	4,521,118
2. 助成金等	0
3. 会費・寄付金	16,793,794
4. その他収益	76,644
合計	21,391,556

収益の部 収益合計 2,139 万円

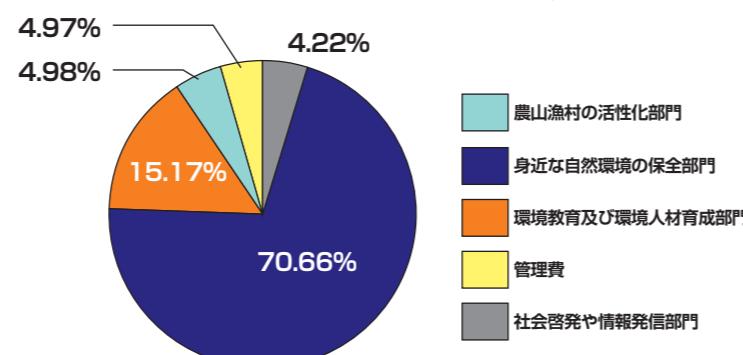


事業収益
会費・寄付金
その他収益

II. 経常費用

1. 農山漁村の活性化部門	1,022,496
2. 身近な自然環境の保全部門	14,497,699
3. 環境教育及び環境人材育成部門	3,113,679
4. 管理費	1,019,312
5. 社会啓発や情報発信部門	866,228
合計	20,519,414

支出の部 支出合計 2,051 万円



農山漁村の活性化部門
身近な自然環境の保全部門
環境教育及び環境人材育成部門
管理費
社会啓発や情報発信部門

理事会・総会のご報告

令和7年度 第2回理事会

日 時：令和7年5月30日（金）
17時～19時
会 場：オンライン
出席者：理事9名／9名
監事 1名／1名

●審議事項

令和6年度事業報告について
令和7年度事業計画及び予算
組織図の変更について

令和7年度第26回定期総会

日 時：令和7年6月14日（土）13時30分から15時15分
会 場：新宿エコギャラリー（オンライン併用）
出席者：会場8名 オンライン4名 委任状・議決権行使書26名

●審議事項

第1号議案 令和6年度事業報告
第2号議案 令和6年度決算報告

●報告事項

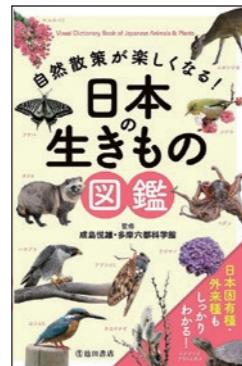
1. 令和7年度事業計画
2. 令和7年度活動予算

書籍の紹介



子どもに教えてあげられる
散歩の草花図鑑

著・写真 岩槻 秀明
(2017、大和書房)



自然散策が楽しくなる！
日本の生きもの図鑑

監修：成島悦雄、多摩六都科学館
(2020、池田書店)



写真でわかる！
ヤゴの見分け方

著・写真 梅田 孝
(2023、世界文化社)



川と人の関係を結びなおす
長良川のアユと河口堰

著 藏治光一郎
(2024、農文協)

事業レポート

大阪・淀川自然再生プロジェクト

マイクロソフト社における Microsoft Nature Based Solutions として、大阪府寝屋川市の淀川にある点野（しめの）ワンドにおける生態系回復事業として、昨年チガヤ、オギ、セイタカヨシ、樹木（オニグルミ等）の移植を行いました。

植栽を実施した全ての植物は、順調に成長しつつあります。しかし、元々植栽区各所に生えていた外来草本の勢い（特に春はネズミムギ等のイネ科草本類、マメ科のカラスノエンドウ等）が激しく、まだまだ目標とする在来草本の群生景観には程遠い状況です。よって、刈り払い機による全面刈り払いや、手鎌による除草作業を実施しました。この1年が勝負どころです。

（レンジャーズプロジェクト担当 國師）



▲株植えしたセイタカヨシ（2025年4月）



▲小雨の降る中、手鎌で外来植物を刈り取る（2025年5月）

活動レポート

石部棚田の田植え in 松崎町

米騒動の中、松崎町に出張しました！

自然環境復元協会（NAREC）は、初代理事長の杉山恵一先生の頃より、石部の棚田のオーナー会員として参加、継続してきました。5月24日（土）は、空模様の怪しい天気でしたが、当協会メンバー、レンジャーズ隊員、家族、社会人、学生等10名で棚田の田植え祭に参加しました。

今回はJR三島駅から伊豆縦貫自動車道を通って目的地まで2時間程かかりましたが、棚田には昼過ぎに到着。中腹にはキッチンカーが出迎え、ここで昼食をとった参加者もいました。昼食後、関係者より作業の手順を聞いた後、5枚の田んぼの田植えを行いました。田植えは、参加者の大半は初心者でしたが、苗を等間隔に植えるために竹竿に赤い印がついた棒を用いて、水田に足を取られながらも一株毎丁寧に、また丹精込めて苗を植えてくれました。田植えが終わったばかりの棚田は、整然として青々として、まさしく「早苗田（さなえだ）」でした。米作りには八十八（＝米）の作業があるそうですが、その中の大事な田植えの作業、2時間ほどで無事終えることが出来ました。

これから梅雨、台風シーズンと水害が心配されます。水田の役割の中に、ダムとしての水害の防止があります。棚田がこの役割を担ってくれることを願っています。また今年はイネカメムシの収穫への影響が懸念されます。米騒動の中ではありますが、何事もなく実りある秋の収穫祭を迎えられることを願って帰路につきました。

（普及・啓発委員会 委員長 河野 均）



▲苗を等間隔に植える



▲田植えを終えて

環境系学生未来塾 / スタディツアーオの知らせ

2025年9月17日(水)～21日(日) | 環境系学生未来塾 in 屋久島

自然環境や地域活性、第一次産業など、環境系の分野に少しでも興味のある大学生に向けた、これから的人生をデザインするワークショップ型合宿。自然の中で自分と向き合い、地域で生きるさまざまな人の想いを聴きながら、仲間との対話を通してこれから生き方を考える4泊5日のイベントです。

2025年秋 | 環境再生スタディツアーオ in 屋久島

今年度も環境再生を学ぶスタディツアーオを開催予定です。

※どちらも詳細は当協会のHPやマーリングリストにて決まり次第ご案内いたします。

2025年度CSO ラーニング生の面接が始まりました

毎年NARECではSOMPO環境財団による大学生・大学院生の方に向けた7ヶ月間のインターンシップ制度の受け入れをしています。今年度より開始時期がひと月遅れることになり、7月からの活動予定で、現在面接を行っています。今年度も新しい出会いを楽しみにしています。

寄付の税制優遇措置について

認定NPO法人である当協会へのご寄付は、税制優遇措置の対象となり、確定申告の際に、税金の優遇措置が受けられます*。

*各自治体によって若干異なります。詳しくは国税庁HP、お住いの都道府県の税事務所にお問い合わせください。

*寄付の税制優遇をご希望の方は領収書が必要となります。「領収書送付先ご住所」を当協会事務局までお知らせください。



ご支援のお願い

当協会の活動は会員の皆様や取り組みにご賛同くださった寄付者の皆様によって支えられています。いただいたご寄付は全国的に担い手不足となっている環境人材を応援し、都市部、農山漁村部の自然を未来に残します。



ご寄付について

以下口座やゆうちょ銀行、クレジットカードで受け付けています。

三菱UFJ銀行 神田支店

普通 5567029

口座名義

特定非営利活動法人

自然環境復元協会

▶ https://bit.ly/narec_donate



YAHOO! JAPAN ネット募金

Tポイント（期間限定ポイントも可）を使った寄付が可能です。

※詳細については下記ホームページをご覧ください。



▶ https://bit.ly/narec_yahoo01

お宝エイド

家にある不要なものを送ることでNARECの活動を応援できます！着払いで配送可能。無料で、気軽に、簡単に始められます。

※詳細や領収書については下記ホームページをご覧ください。



▶ https://bit.ly/narec_buppin